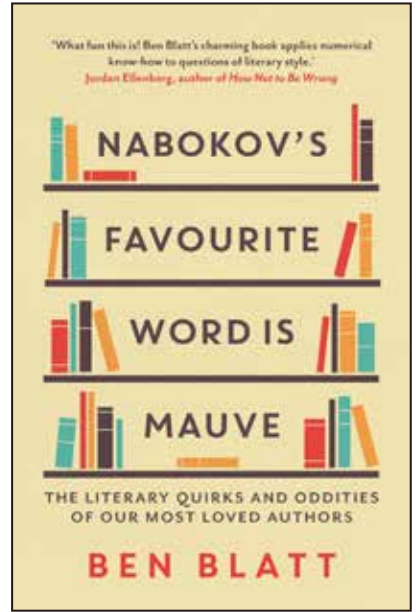


# ■文芸書（海外文学 / 批評）ご担当者様



原著書影

統計から見えてくる、新しい文学の世界。

画期的な文章指南術本！

小説家は、女に<叫ばせ>、男を<くにやりと笑わせる>。

男性作家は、男よりも女に<キスをさせる>。

ビジネス書のトレンドである「統計的思考」を用いて膨大なテキストを解析・数値化、

小説にまつわるさまざまな「ルール」や「思い込み」を検証していく。

## 内容紹介

- ★「副詞を多用するな」と語ったヘミングウェイは本当に他の作家より副詞の使用頻度が低いのか？
- ★男女で書き方の差に違いは出るのか？ 小説におけるジェンダーの偏りはあるのか？
- ★「経験豊富な作家」と「経験不足の作家」に本当に差があるのか？
- ★作家はいつも同じ言葉づかいをしているのかを検証。サリンジャー＝ピンチオン同一人物説を検証した結果は？
- ★データ解析で覆面作家の正体を暴けるのか？（スティーヴン・キングと変名であるリチャード・バックマンの文章を解析してみると…）
- ★「感嘆符を使用しすぎるのは、書き手の経験不足の証」って本当？
- ★一文の単語数がどんどん減少している！？
- ★『ハリーポッター』のイギリス的表現がアメリカの書き手に与えた影響
- ★小説の書き出しと終わり方について。<書き出しの一文は短い方がいいのか>などを数学的に考察。

**作家志望の方はもちろん、小説好きの方は必ず楽しめる一冊です！**

## ■プロフィール

著：ベン・ブラット（Ben Blatt）

作家、統計専門家。共著書に『I Don't Care if We Never Get Back（帰れなくても気にしない）』など。ウェブサイトはBBlat.com。

訳：坪野圭介（つぼの・けいすけ）

1984年生まれ。東京大学大学院博士課程単位取得満期退学。現在、武蔵野大学等講師。専門はアメリカ文学・文化。

訳書にエミリー・アプター『翻訳地帯——新しい人文学の批評パラダイムにむけて』（共訳）、チップ・キッド『判断のデザイン』、デイヴィッド・シールズ他『サリンジャー』（共訳）など。

番線印	担当	新刊委託	<b>数字が明かす小説の秘密</b> スティーヴン・キング、J・K・ローリングからナボコフまで（仮） ベン・ブラット [著] 坪野圭介 [訳]	DU BOOKS
	様	冊		

ご注文・お問い合わせは JRC へ お申し込み FAX 03-3294-2177

JRC 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-34 風間ビル 1F

TEL：03-5283-2230

E-mail：info@JRC-book.com

※全ての取次への出荷可能です。